

授業科目	* 助産診断・ケア学 I (妊娠期)				単位	1		
履 修	必修	関連資格			ナンバリング	MI21201J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP5-1			
担当教員	前田 幸、山田 恵、新郷 朋香							
授業概要	妊娠期の助産診断のためのフィジカルアセスメント及び妊婦と家族の心理・社会的側面からケアに必要な知識を解説し、演習により安全・安楽をふまえた助産技術の習得ができるよう支援する。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 妊婦のケアに必要な基礎的知識について説明できる。</li> <li>2. 妊娠の健康状態を正常および正常からの逸脱について根拠に基づき説明できる。</li> <li>3. 妊婦に必要なケアの習得において主体的に取り組むことができる。</li> <li>4. 倫理観をもち妊婦のケアを安全・安楽に基づき実施できる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	0	10	20	10	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	20						20	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	40		10		10		60	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)				5			5	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)				5			5	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)				10			10	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベル1～3を達成したうえで、知識や思考・判断についてはより詳細に根拠を踏まえた説明ができる。 フィジカルアセスメントについては、より正確な知識や技術が身についている。また、身体的・心理的・社会的のアセスメントに基づいてよりの確な保健指導ができる。				<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 妊婦のケアに必要な基礎的知識について説明できる。</li> <li>2. 妊娠の健康状態を正常および正常からの逸脱について根拠に基づき説明できる。</li> <li>3. 妊婦に必要なケアの習得において主体的に取り組むことができる。</li> <li>4. 倫理観をもち妊婦のケアを安全・安楽に基づき実施できる。</li> </ol>				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	テーマ: 妊娠期のケアの理念/特徴 (前田幸) 妊娠による母体の変化と胎児の成長/発達 演習① 模擬妊婦体験	講義 演習	予習: 講義内容について予習し、まとめる。 復習: 該当部分の復習を行う。	120
2	テーマ: 妊娠期の助産診断とケア(1) (前田幸) 妊娠による母体の変化と胎児の成長/発達 ・妊娠期の経過診断、胎児発育・健康状態の診断 ・妊娠期のフィジカルアセスメントとケア	個人ワーク	予習: 講義内容について予習し、まとめる。 復習: 該当部分の復習を行う。	60
3	テーマ: 妊娠期の助産診断とケア(2) (前田幸) 妊娠による母体の変化と胎児の成長/発達 ・妊娠期の経過診断、胎児発育・健康状態の診断 ・妊娠期のフィジカルアセスメントとケア	個人ワーク	予習: 講義内容について予習し、まとめる。 復習: 該当部分の復習を行う。	60
4	テーマ: 妊娠期の助産診断とケア(3) 妊娠期の保健指導 (G.W) (前田幸、新郷朋香) 演習①' 模擬妊婦体験の共有 気づきと妊婦への支援について考える ・妊娠期の経過診断、胎児発育・健康状態の診断 ・妊娠期のフィジカルアセスメントとケア ・妊娠期の心理的・社会的変化 ・マイナートラブルのアセスメントと支援 ・健康生活の診断と保健指導 ・法律・制度	講義 グループワーク	予習: 講義内容について予習し、まとめる。 復習: 該当部分の復習を行う。	60
5	テーマ: 妊娠期の保健指導(G.W)(前田幸) 同上	グループワーク	予習・復習: グループワークを通して妊娠期の保健指導を考える。	60
6	テーマ: 妊娠期の保健指導 (発表) (前田幸) 同上	グループワーク発表	予習・復習: グループワークを通して妊娠期の保健指導を考える。	120
7	テーマ: 妊娠期の保健指導 (まとめ) (前田幸) ・健康生活の診断と保健指導 ・妊娠各期の保健指導、母子健康手帳活用法 ・親になる準備への支援方法 ・出産準備教育(育児準備教育)	講義 個人ワーク	予習: 進行1~6の講義内容について復習して臨む。 復習: 該当部分の復習を行う。	60
8	テーマ: 妊娠期の保健指導 (前田幸、新郷朋香他) 演習② 日常生活適応への支援方法 妊婦体操・腹帯の着用・イメージラリー	演習	予習: 演習内容について学習しておく。 復習: 該当部分の復習を行う。	60
9	テーマ: 妊婦の支援(1)(前田幸) ・事例に基づいた健康診査・保健指導の方法について解説を行う。	講義	予習: 講義内容について予習し、まとめる。 復習: 該当部分の復習を行う。	60
10	テーマ: 妊婦の支援(2) (前田幸、新郷朋香他) 演習③ 妊婦健診・保健指導 ・事例に基づいた健康診査・保健指導の方法についてデモンストレーションを交え解説、演習を行う。 ・ディスカッションを行い、学びや気づきを共有し、レポートにまとめる。	演習	予習: 演習内容について学習しておく。 復習: 該当部分の復習を行う。	60

11	<p>テーマ:妊婦健康診査の技術(1) (前田幸、山田恵、新郷朋香他) 演習④ レオポルド触診法、子宮底長・腹囲測定、児心音聴取、骨盤外計測 ・妊婦健康診査に必要な技術を解説、演習を行う。</p>	演習	<p>予習:演習内容について、根拠や手順など学習しておく。 復習:技術習得に向け、各自練習を行う。</p>	60
12	<p>テーマ:妊婦健康診査の技術(2) (前田幸、山田恵、新郷朋香他) 同上 (質疑応答 まとめ)</p>	演習	同上	同上
13	<p>テーマ:妊婦の支援(3) (前田幸、山田恵、新郷朋香他) 模擬助産師外来演習の準備 計画立案、助産技術の確認 演習⑤ 模擬妊婦を対象に健康診査の実施・保健指導</p>	演習(発表)	<p>予習:事前提示された事例をもとに妊婦健診(技術含む)、保健指導について準備を行う。 復習:演習を通して、自己の振り返りを行い、必要な技術については練習を行う。</p>	60
14	<p>テーマ:妊婦の支援(4) (前田幸、山田恵、新郷朋香他) 同上</p>	演習(発表)	同上	同上
15	<p>テーマ:妊婦の支援(5) (前田幸、山田恵、新郷朋香他) 同上 (振り返り まとめ)</p>	演習(発表)	同上	同上
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	母性看護学に関する知識と看護技術について復習をしておいてください。			

テキスト	<p>助産学講座 6 助産診断・技術学 2 [1] 妊娠期 我部山キヨ子他編 医学書院          助産基礎教育テキスト 第 4 巻 妊娠期の診断とケア 森恵美他編 日本看護協会出版会          病気が見える Vol.10 第 4 版 MEDIC MEDIA          根拠と事故防止から見た母性看護技術 石村由利子編 医学書院          科学的根拠にもとづく快適で安全な妊娠出産のためのガイドライン 2013 厚生労働科学研究妊娠出産ガイドライン班 金原出版株式会社          今日の助産 マタニティサイクルの助産診断・実践課程-改訂版第4版 北川真理子他編 南江堂          産婦人科診療ガイドライン 産科編 2020 発行: 日本産婦人科学会 編集・監修: 日本産婦人科学会/日本産婦人科医会          助産業務ガイドライン 2019 日本助産師会他編・監 日本助産師会出版社          エビデンスに基づく助産ガイドライン - 妊娠期・分娩期・産褥期 2020 一般社団法人日本助産学会ガイドライン委員会 日本助産師会</p>
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>指定図書や参考書などを参考にしてください。必要に応じて資料を配布します。</p>
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>講義や演習で得た知識や助産技術の習得するため、予習・復習をして下さい。また、新聞などを参考に母子にかかわる社会情報にも関心をもって取り組むようにしましょう。          演習では、身だしなみを整えたうえで臨んで下さい。          演習、自己練習時には模型などの教材の取り扱いは丁寧に行い、準備・後片付けも自主的に行いましょう。          感染予防に留意し行動しましょう。</p>
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	<p>評価は、試験およびレポート、個人ワーク・グループワークへの取り組み、講義中の記録物、演習時の態度、技能・表現により総合的に判断します。          個人ワークやグループワーク、演習等に関して講義中にフィードバックします。          また、再試験は筆記試験にて評価します。</p>